

令和7年度 第2回久留米市立図書館協議会 会議録

日 時 令和7年11月25日（火）午前10時30分～12時00分

会 場 久留米市立中央図書館 3階会議室

出席者 藤林会長、梅野副会長、友野委員、江頭委員、永松委員、鳥越委員、稲益委員、
高山委員、富田委員、菊池委員、永利委員、百鳥委員、太郎丸委員、
（欠席者：池田委員、井上委員、塚本委員）

事務局 井手館長、白谷主幹、臼井司書主幹、田中補佐、有田主査、深川主査、田代、内藤

次 第

1 開会

2 議事

（1）第5次久留米市子ども読書活動推進計画素案について

3 その他

4 閉会

～ 質 疑 応 答 ～

議事 （1）第5次久留米市子ども読書活動推進計画素案について

委 員：①P21の乳幼児期の四角囲みについて。保護者への啓発は、もう少し具体的な新しい試みを入れても良いのではないか。例えば、乳幼児期の取組として、おはなし会の実施～に、LINEなどのSNSを使った広報など。

②P21の学童期の四角囲みについて。小学生の読書活動支援として、デジタル情報に関することも踏まえて、例えば紙書籍と電子書籍の比較や特に情報リテラシーについて、図書館でイベントを行ったり、学校図書館との連携で授業を行う機会を検討してみてはどうか。

③P22の中高校生等の四角囲みについて。YA図書の整備をする上で、「中高生から聞き取りする機会を設ける」を明確に記載しては。

④P25の司書の人材育成について。司書が、紙書籍と電子書籍の特徴や違いを比較して、情報を取捨選択できる能力を高めていくことを明記してもいいと思う。デジタル時代における読書推進としてより良くなるのではないか。

⑤今回の協議会意見を反映した後は情報をもらえるのか。

事務局：①～④盛り込めるところは修正を検討したい。

⑤12月の久留米市議会の教育民生常任委員会・教育委員会の報告後、パブリックコメント前に、意見を踏まえ修正した資料を送付したい。

委 員：①学校図書館の運営の充実に関する有識者会議の報告書が令和8年3月に完成予定になっており、この報告書がガイドラインや基準が改定される原案になると考えられる。P26の効果的な計画推進のための取組に国の動向を反映させる等記載してみてはどうか。

②P5～6に学童保育所の明記がない。学童期における読書環境の確保への取組や夜間保育や学童保育での定期的な読み聞かせなど施策として記載できるのではないか。

③学校に対して、一括で電子図書館IDとパスワードを発行する学校連携の取組をしていく

べき。国も推奨しているのでぜひ取り組んでほしい。

事務局：①どのように記載するかを含め検討する。

②学童保育所については、団体貸出や再活用図書の配布に取り組んでおり、市内 44 か所ある学童保育所全てで団体貸出を活用し読書活動を推進していることを P3 に掲載している。

③学校に電子図書館 ID を付与する連携のあり方については、教育部と検討した経緯はあるが、学校数が多いこともあり実施までには至っていない。今後の課題として学校・教育と検討を進めていきたい。

委員：①事前に送付された資料と文言が多く変わった理由を教えてください。

②P4「絵本のある環境」の文言がカットされている。子どもが本に触れられる環境は大事なので残念だと思った。

③P5「全校一斉の読書活動」とあるが、学校の授業の中で図書館での学習時間が非常にカットされている。このあたりを文言に入れたほうがよいのでは。

④各文章に関係課と記載されているが、具体的に明記をしたほうが良いのではないか。（意見のみ）

⑤学校図書館と市立図書館の連携にコーディネーターは大きく関わっている。コーディネーターを明記してほしい。

⑥P24～25 司書の人材育成の項番が下がっているので、項番を上げてほしい。司書の処遇・待遇についても触れるべきではないか。

⑦レファレンスやリクエストの文言が少ないと感じるのでもっと入してほしい。

事務局：①素案を作るにあたり、協議・見直しを何度も重ねた結果、変更が多くなった。委員の皆様には資料を送付した時点で見直しが十分でなかったところが影響した。

②乳幼児期における読書活動の推進として絵本のある環境は大切なことであり、どのように入れるか検討したい。

③学校を取り巻く状況は 1 人 1 台端末を使った学習が増えている。全校一斉読書の大切さは十分に認識しているが、どのように入れられるかは考えさせていただきたい。

⑤図書館支援員として教育部にコーディネーターが配置されている。学校図書館と市立図書館の連携を教育部という形で記載している。

⑥司書の人材育成は重要と考えているが、計画を策定するにあたっては、国の方針の順を踏まえ入替させてもらった。司書の処遇改善も重要と考えているが、計画を策定する上では人材育成と記載をしている。

⑦レファレンス、リクエストの文言記載は、現在の案を確認し使える部分があれば盛り込んでいきたい。

委員：民生委員で月に 1 度、子どもの居場所づくりの取り組みを実施している。その際に絵本を読むと子どもが喜んでくれるので団体貸出が利用できるのであれば利用したい。

事務局：その内容であれば特別貸出で対応できると思う。ぜひご相談いただきたい。

委員：乳幼児が言葉を獲得していく段階で絵本は重要だと思う。児童室で声を出して良いスペースを作ってみてはどうか。（意見のみ）

委員：P27～29 の施策表について。項目 2、3、5 で具体的な取組の書き方に差がある。また、今の

書き方は図書館だけが読書活動を頑張れば良いととれる。図書館だけでなく、他の組織も含めた久留米市全体で取り組んでいると思える記載をしたほうが良いのではないか。(意見のみ)

委員：P27 施策表 2 の保育所・幼稚園・認定こども園について。読み聞かせの実施や保育環境の充実などは園で当たり前に行っていることばかりで違和感がある。わざわざ記載をする必要があるのか。(意見のみ)

委員：ブックスタート対象後から小学生までの期間の子どもに対し、本を読む機会を作ることが重要。赤ちゃんおはなし会から定例おはなし会の空白の年齢の読み聞かせをどうしていくのか。取組が書かれていない。

事務局：中央図書館、地域館では乳幼児対象のおはなし会を月 1 回実施している。中央図書館では 2・3 歳児対象のおはなし会も月 1 回実施している。施策 26「おはなし会などの開催」に乳幼児向け企画の実施と記載している。

委員：今の出版状況について。電子書籍の 90%が漫画である。漫画の選書は図書館で難しいと思われるが、一般社団法人のマンガナイトで紹介されているお勧め漫画 250 点などを参考に選書をすると思う。またバリアフリー図書について、伊藤忠記念財団協力で行われたフォーラムで九州沖縄の取り組みが発表されている。参考にされてはどうか。(情報提供のみ)